

2023年4月12日

ウェザーニューズ「第十回桜開花予想」を発表
桜前線は記録的な早さで北海道へ 札幌などGW前から見頃に
 ～全国の名所1,100か所の開花・満開予想をウェザーニューズアプリ「さくら Ch.」で公開～

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開千仁)は「第十回桜開花予想」を発表しました。

2023年の桜前線は記録的な早さで北上し、早くも北海道に到達しました。今週14日に札幌、16日には函館で開花する予想で、5月上旬にかけて開花エリアが広がっていく見通しです。東北北部では現在満開のところが多く、秋田県や岩手県では今週末まで、青森県では来週末まで見頃の桜を楽しめそうです。北海道の道南や道央では早くも来週には桜が満開となる予想で、GW前に見頃を迎えます。お花見を予定されている方はタイミングを逃さないよう、最新の開花状況をご確認ください。

なお、本発表をもちまして、2023年シーズンの桜開花予想を終了いたします。全国1,100か所のお花見名所の開花・満開予想は、ウェザーニューズのアプリやウェブサイトの「さくら Ch.」からご覧いただけます。

✓ポイント

1. 東南北部は早くも桜吹雪に
2. 東北北部の桜が見頃、お花見は来週末まで
3. 北海道に桜前線が上陸、GW前から見頃に

本プレスリリースの素材のダウンロード	全国1,100か所のお花見名所の情報
ウェブ版プレスリリース「第十回桜開花予想」 https://jp.weathernews.com/news/43174/	ウェザーニューズ「さくら Ch.」 https://weathernews.jp/sakura/

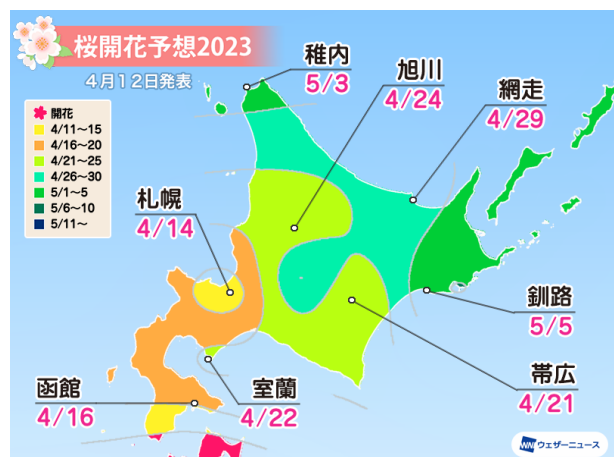
◆ 2023年「第十回桜開花予想」

<桜前線は北海道へ 記録的な早さ>

桜前線は記録的な早さで北上しています。先週4月7日に青森で開花を迎え、開花日の最早記録を更新しました。今週4月11日に松前で開花を迎え、桜前線は早くも津軽海峡を越えて北海道に到達しています。函館や札幌の開花も目前です。

今後の北日本の天気は周期的に変化します。寒気の影響で一時的な寒の戻りがあるものの、気温は平年よりも高くなる予想です。北海道では15℃前後まで気温が上がるなど5月上旬並の暖かさとなる日もあり、開花に向けてつぼみの生長がさらに進み

そうです。今週4月14日に札幌、16日に函館で開花する予想です。いずれも統計開始以来最も早い開花になる見込みです。全国で最も開花の遅い釧路でも5月5日に開花を迎え、桜前線はゴールへと向かいます。



<北海道ではGW前から見頃に>

東北南部や長野県北部では桜吹雪を迎えたところが多くなっており、見頃終盤です。東北北部では現在満開のところが多く、秋田県と岩手県では今週末まで、青森県では来週末までお花見を楽しめそうです。北海道の道南や道央では早くも来週に桜が満開となる見込みです。札幌など平年よりも半月以上早い満開となるところもあるため、お花見を予定されている方はタイミングを逃さないよう、最新の開花状況をご確認ください。

<第九回(4/5 発表)からの変化点>

「桜のつぼみ調査」によるつぼみの生長状況を反映させ、開花予想日を 1~2 日早めたところが多くなっています。函館では最新のつぼみの状況から開花予想日を 3 日遅らせました。

<「桜のつぼみ調査」によるつぼみの生長状況>

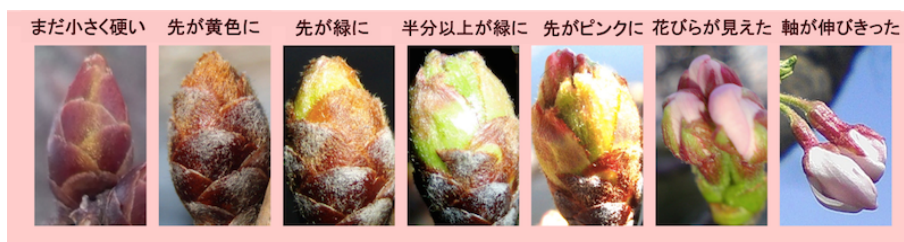
「桜のつぼみ調査」(※)の結果、東北ではほとんどのつぼみが開花を迎え、北海道では先の色が変わったつぼみが 7 割を超えて、開花が近いつぼみも現れ始めたことがわかりました。

北海道では「先が黄色に」以上のランクに変化したつぼみが前回の 38%から 73%に大幅に増加しました。中には「先がピンクに」以上のつぼみも見られています。先週の北日本は 5 月上旬並の暖かさとなった日があり、つぼみの生長が進みました。この先の気温も高い傾向のため、つぼみの生長は早いペースで進み、開花の報告も届きそうです。



※ 「桜のつぼみ調査」について

ウェザーニューズでは、全国の桜の生長状況を調べるため、毎週金曜日~日曜日に、ウェザーニューズのユーザーと共に「桜のつぼみ調査」を実施しています。本調査では、つぼみの生長を 7 段階(“まだ小さく硬い”“先が黄色に”“先が緑に”“半分以上が緑に”“先がピンクに”“花びらが見えた”“花の軸が伸びきった”)で写真と共に報告していただきます。つぼみの現在の状態を細かく把握することで、より高い精度で開花日を予想できるようになります。本調査結果を加味した最新の開花予想は、翌週水曜日に発表します。



つぼみの生長ランク

◆ 各都市の開花予想日 ソメイヨシノ標本木(*はエゾヤマザクラ)

エリア	都市	開花	満開	平年開花	昨年開花	平年満開	昨年満開
北海道	札幌	4月14日	4月18日	5月1日	4月23日	5月6日	4月25日
	稚内(*)	5月3日	5月6日	5月13日	5月6日	5月16日	5月9日
	旭川(*)	4月24日	4月27日	5月4日	4月26日	5月7日	4月28日
	網走(*)	4月29日	5月2日	5月10日	4月27日	5月13日	4月30日
	釧路(*)	5月5日	5月8日	5月16日	5月8日	5月19日	5月10日
	帯広(*)	4月21日	4月24日	5月2日	4月22日	5月5日	4月25日
	室蘭	4月22日	4月27日	5月4日	4月25日	5月9日	4月30日
東北	函館	4月16日	4月20日	4月28日	4月21日	5月2日	4月25日
	青森	4月7日(※1)	4月11日(※1)	4月22日	4月16日	4月26日	4月20日
	秋田	4月4日(※2)	4月7日(※2)	4月17日	4月12日	4月22日	4月16日
	盛岡	4月3日(※1)	4月6日(※1)	4月18日	4月14日	4月24日	4月18日
	仙台	3月26日(※1)	3月31日(※2)	4月8日	4月8日	4月13日	4月11日
	山形	3月31日(※1)	4月5日(※2)	4月13日	4月11日	4月18日	4月13日
福島	3月24日(※1)	3月28日(※1)	4月7日	4月4日	4月11日	4月8日	

※1 最早記録, ※2 最早記録タイ

◆ 名所の開花予想日

エリア	都道府県	スポット名	開花	満開
北海道	北海道	五稜郭公園	4月16日	4月20日
		二十間道路桜並木 (エゾヤマザクラ)	4月24日	4月28日
東北	青森	弘前公園	4月7日	4月13日
	秋田	桧木内川堤のソメイヨシノ	4月9日	4月12日
	岩手	北上展勝地	4月3日	4月7日
	宮城	白石川堤一目千本桜	3月27日	4月1日
	山形	霞城公園	3月30日	4月6日
	福島	開成山公園	3月28日	3月31日

※ 上記の表は全国約1,100か所のお花見名所から都道府県ごとに1か所(北海道は2か所)をピックアップしています

◇ 参考:桜開花予想の定義

開花日: 標本木で5~6輪以上の花が咲いた状態となった最初の日

施設内の桜の木(複数)の開花がピークを迎える日

満開日: 標本木で約80%以上のつぼみが開いた状態となった最初の日

施設内の桜の木(複数)の満開がピークを迎える日

※ 気象庁の観測基準と同じです。

※ 独自の取材により、施設管理者などの判断を基準としています。

平年 : 1991~2020年の平均値

非常に早い : 基準より7日以上早い

早い : 基準より5~6日早い

やや早い : 基準より3~4日早い

並 : 基準との差が2日以内

やや遅い : 基準より3~4日遅い

遅い : 基準より5~6日遅い

非常に遅い : 基準より7日以上遅い

◇ 参考:桜開花予想の手法

ウェザーニューズでは、これまでに「さくらプロジェクト」に寄せられた 200 万通以上の桜のレポートおよび桜の名所への独自取材をして得られた実況データを統計的に分析し、実況気温・予想気温のデータをもとに開花日を予測しています。

(1) 桜レポートの分析

ウェザーニューズでは、全国各地の一般の方(ウェザーリポーター)と“つぼみ”の段階から桜の生長を見守り、桜の開花状況を観察する取り組み「さくらプロジェクト」を 2004 年以降、毎年実施しています。全国各地から届くレポートから桜の生長状況を把握し、開花予想に反映しています。

(2) 全国約 1,100 か所の桜の名所への取材データ

ウェザーニューズでは、全国の桜の名所約 1,100 か所に電話などで独自に取材を行い、桜の生長状況や開花状況を調査しています。取材で得られる調査結果を統計的に分析し、開花予想に反映しています。

(3) 近年の統計データを分析

桜の開花予想を算出する際、統計データが分析の基本データとなります。通常、桜の開花予想には過去 30~50 年程度の統計データを使用しますが、昨今の平均気温の上昇傾向により、長期の統計データでは正確な開花予想の算出が難しくなってきました。ウェザーニューズでは、気温が上昇傾向にある過去 20 年間の統計データを基本データとして使用し、各地点の開花予想を算出しています。また、近年の急激な温暖化を考慮するために過去 10 年の統計データも参考にして分析を行っています。

(4) 最新の気象データをもとに気温の推移と開花予想を算出

桜の開花には、前年からの気温が大きく関係します。桜の順調な開花には、つぼみの生長を促す春の暖かさに加え、つぼみが休眠打破するために、前年の秋から冬にかけての寒さも必要です。また、開花のタイミングは 2 月後半から 3 月の気温に大きく影響されます。2 月後半から 3 月の気温が高く、春の訪れが早いほど桜のつぼみの生長は促進され、開花が早まる傾向にあります。一方、開花直前の時期に寒の戻りがあると、寒さが強まった日数だけ開花日が遅れることがあります。寒の戻りによる開花の遅れは、開花時期直前の「桜のつぼみ調査」や独自週間予報等から予測に反映しています。